

令和7年度 第1回JR小野田線活性化委員会 議事録

令和7年7月29日（火）

1 協議事項

発言者	発言要旨
榊原委員長	地域公共交通は、人口減少やコロナの影響等により長期的に利用者が減少しており、大変厳しい状況に置かれている。特にJR小野田線をはじめとしたローカル鉄道は危機的な状況にあるとされ、バスも運転士の不足など課題が山積している。 こうした中、JR小野田線活性化委員会では、JR小野田線の利用の活性化を図るため、「鉄道とバスの共通乗車制度」の導入に向け、昨年度はモニター実験を行うなど、検討を重ねてきたところ。 本日は、令和6年度事業報告及び決算報告を行うとともに、令和7年度の事業内容についてご協議をお願いしたいと考えている。中でも「鉄道とバスの共通乗車制度」のモニター実験についてもあわせて報告したいと考えている。 JR小野田線沿線地域の公共交通を、将来にわたって持続可能なものとするため、本日は闊達な御議論をお願いしたい。
◆令和6年度事業報告、収支決算及び監査報告について	
榊原委員長	事務局より説明いただいた。質疑の前に、監事より監査報告をお願いしたい。
塩田 幹事代理	6月27日、令和6年度分の監査を実施いたしました。監査の結果、適正かつ正確であることをご報告します。
榊原委員長	それでは御質問や御意見があればお願いしたい。
榊原委員長	収支の確認で宇部線スタンプラリーがあがっていない点は何故か。
事務局	宇部線利用促進協議会の事業であるため、こちらには計上していない。
榊原委員長	船木鉄道のダイヤ改正について、聞くところによると今年は増便を検討されているということで、このあたりの影響は如何か。もう一点は、共通乗車制度を運営された船木鉄道とJRのシステム運用について、支障や問題が何かあれば教えてほしい。
事務局	一点目については、船木鉄道の運転士不足が改善してきたため今年度増便される予定があるとは伺っているところ。減便していた昨年度でもある程度の効果が見られたので、増便した今回においてもモニター実験の実績やデータは役に立つかと考えている。 また、スマートフォンでJRのアプリ「WESTER」を起動し、タッチして乗車する際に不具合がありエラーとなった事案が数件あったということは聞いている。

西嶋委員	事務局から説明いただいたとおりであるが、当該制度について周知をしっかりとしていきたいと考えている。
榊原委員長	モニター実験は小野田工業高校が対象だけであり、利用件数は少ないが、システムとしては多少トラブルがあったものの、概ね問題なく運用できたという結果が得られたかと思う。
◆令和7年度活動方針、事業計画（案）及び収支予算（案）について	
事務局	現在調整が整っていない部分として、先ほどＪＲから説明があった最終便の目標値であるとか、共通乗車であれば、ＪＲ、船木鉄道、活性化委員会の三者で契約書を締結する事務的な作業がある。これらの点については何かしらの形で委員の皆様にお諮りしたいと考えている。
榊原委員長	事務局及びＪＲから説明いただいた。御質問や御意見があればお願いしたい。
田中委員	回答者へのアンケートについて、図書カードの記載があるが、鉄道やバスを利用している方なので、回数券等をお送りした方がよいのではないかと。我々も次の２月からスマホやカード等のキャッシュレス決済システムを導入するので、こういったインセンティブも様々対応できるようになると思う。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。今後検討してまいります。
榊原委員長	「WESTER」を使ったポイント還元等、様々考えられると思うので、どのような形にするかは別途検討して欲しい。
榊原委員長	ＪＲが言われる目標というのは大事で、需要の掘り起こしという面で言うと、この共通乗車制度は今まで公共交通を使っていなかった方が最終的に公共交通を使うようになるように持っていかなければならない。ある程度、実証の期間を設けないと今利用している人が少し便利になったということにしかないので、そのあたりは検討してほしい。 今やっている制度は鉄道の定期を持っている人がバスにも乗れるという「片方」となっており、バスが補完的な立ち位置にはなってしまうが、基本的には鉄道をご利用いただき、帰りや通学以外でバスを使ってもらえるチャンスを増やしていく等、どんどんバスに移行していくわけではなく、鉄道もバスも使える状況を整備、目標値を整理してほしい。 夜の増便については、とても時期を得た事業と思っている。コロナ後にタクシー利用も厳しい中、良い取組だと思っている。他地域でも夜間交通について色々検討されているようなので、そういったことも参考にしていきたいと思う。 今後は運賃収入の仕組み等も良く整理する必要があるし、最終的には公共交通の牌が増えなければいけないので、検討を進めてほしい。

榊原委員長	この委員会は決をとるということではないという理解でよいか。
事務局	当委員会は法定の協議会ではないので決をとるということとはしていないが、形として委員の皆様にお諮りし、事業を進めていきたいと考えている。

2 その他

意見等、特になし。

閉会